

試験概要 かえつ有明中学校 2021 年度入試 アクティブラーニング思考力特待入試

実際の流れ

- テスト開始前  
ひとつの丸いテーブルを囲むように4～5名がけの椅子が並んでいます。  
テーブルごとにグループが分かれます。またテーブルごとにホワイトボードがあります。  
受験生は、受付後に指定された場所に着席します。
  - あいさつ、テストの趣旨説明（5分）  
「ほとんどの入試では、周りは競争相手ですが、この入試は、周りと協力しあって進んでいきます。  
先生たちも監視しているわけではありません。」
  - アイスブレイク（5分）  
「そうは言っても緊張していると思うので、心と体をほぐしましょう！」  
→これからのAL入試へむけてリラックスし、協調的なマインドに整えることが重要です。  
無理に目立つ必要はありません。
- ①まずは簡単に自己紹介をしましょう！（名前・好きなもの・最近のマイブーム1人1分）
- ②お互いのことをさらによく知るために、「共通点じゃないもの」探しゲームをします！（2分）
- ③今回は、グループで協力するワークになりますので、アイスブレイクも協力するゲームをします！  
→ドミノチャレンジ！ 作戦タイムを設けて、一番長く倒れるドミノを作れるかグループ対抗戦！  
(5分×2回)
- 活動（計70分）  
→中央のプロジェクターと3つのサブモニターに表示されるスライドに沿って指示が出されます。  
「今回の入試では、自分のことや仲間のことをたくさん知ってください。」
- ① 「ゴールドチャレンジ」にチャレンジしよう！  
→[ルール説明](#)を見て、ゲームを開始しよう！ (30分)
- \*適宜ルールが追加されるので、対応しながらゲームを進めよう。
- ② グループでゲームの振り返りをしよう。(3分)
- ③ ゲームのネタばらし  
「こちら、ゴールドチャレンジではチームごとに入っているものが違ったんですね。道具が多く入っているチームもあればそうでないチームもありました。  
ここで、みなさんに少しだけ考えてもらいたいことがあります。最初に行ったドミノチャレンジでは全グループが同じ条件でゲームを行いました。先ほど行ったゴールドチャレンジは見て分かる通り、もともと入っているものが違う、「差」がある状態でゲームを行いました。それぞれスタートの時点で差がある時とない時でゲームにチャレンジしてもらいました。この「差」を感じることで今日やったゲームの世界だけではなく、日常生活でもよくあったりしないかな？」
- ④ 日常生活で「差」を感じたときをふせんに書いてみよう！ (3分)  
→グループで共有しよう！ (3分)  
「「差」がなくなったらどんな世界になるのかグループで話し合おう」 (5分)
- ⑤ 「差があることの良さ」「差がなくなることの良さ」をそれぞれホワイトボードに書いてみよう。(10分)  
→他のグループがどんな話し合いをしていたか、自由に動いてホワイトボードを見に行こう！

⑥ 「今日これまでやってきたことを振り返ってみましょう。」（5分）

→これまでの活動を列挙し、内省を促します。

● メッセージ（5分）

他のグループがどんなことを感じていたか見ることは出来ましたか？今日の活動を振り返って私から少し話をしますね。

今日は自己紹介から始まり、まずはグループの人を知ってもらうワークを行いました。次にドミノチャレンジとゴールドチャレンジというゲームを通して前提条件が同じ時と違う時、差がある時とない時を体感してもらいました。その後、差がなくなった世界を想像し、差があることの良さや差がないことの良さをグループで話あってもらいました。

「差」と聞くとネガティブな印象を持つかもしれません。例えば、誰々より足が遅いとか誰々の方が頭がいい、顔がいいとか…人と自分を比べて落ち込んだり、自分を嫌いになったり…でもその差がなくなってみんな同じになったら…みなさんに今日話し合ってもらいましたが、もしかしたら、その差というものを感じて誰かと比べることで、自分の良さに気が付いたり、その差を埋めようとして思っている以上に努力が出来たり、内面が成長するきっかけになったりするのかもしれない。

人と比べるのではなく、ただあなたはあなたらしく、自分を受け入れ、自分って何者なんだ？と自分の内面に問いかけることで自分が成長できるのかもしれない。

かえつ有明に入学した時に、人と比べて落ち込むのではなく、この人はこういう良いところがある、と他人を認め、私にはこういう良いところがあると、人と違うという差を楽しみながら生活してほしいと思います。

今日は90分という長い時間、本当にお疲れさまでした。